



調布市は、令和7年4月1日に市制施行70周年を迎えました

市報

ちようふ



令和7年(2025年)
No.1796

8/5

CONTENTS(主な内容)

新たなグリーンホールの整備に向けた意見募集	4
第65回市民スポーツ大会	8・9
第70回市民文化祭	10
東京2025デフリンピックが調布にやってくる!	16

※盟約40周年記念ロゴは、木島平村の特産品であるお米の稲穂とスキー場のある高社山、調布市をホームタウンとするFC東京や味の素スタジアムをモチーフに制作しました。



今年で姉妹都市盟約40周年
グリーンシーズンも楽しい!
長野県木島平村で体験旅



2・3面へ続く

今回は夏休みの家族向けに、木島平村の食や自然を体験するコースを紹介します。

手をつなぐ樹 468

自由を感じとってほしい

昭和60(1985)年8月1日に長野県木島平村と姉妹都市の盟約を締結してから今年で満40年となった。その間、両自治体住民間の交流の輪は、さまざまな分野で拡大してきた。その有益な姉妹都市交流に関して、時折市民から「調布市は海外姉妹都市は考えないのですか」とのお尋ねを頂く。また、議会においてもこれまで何度か同様の質問をお受けした。私もその趣旨は否定しないが、今より外国に対する憧憬の念が強く海外姉妹都市提携が一つのブームだった昭和時代とは異なり、現在、市の予算を費やしてまで外国の自治体との交流を図るとすれば、産業面のメリットなど実利的な成果が必要との考え方もあろうかと思う。

ただ、海外姉妹都市を有する他自治体から、外国の都市との青少年交流は大変意義深いとお話を折に触れ伺っており、わが市もできれば若い世代にそのような体験をさせてみたいという思いは常々抱いていた。したがってこのたび、教育委員会が市内公立中学生海外体験学習を立案し、議会の承認のもとに同事業が創設されたことは嬉しい限りだ。初年度は20人の中学生を今月オーストラリア西部のパーズに派遣する。

1週間程度の現地滞在ではあるが、各参加者が自由に海外の印象を心に焼き付けてもらえればと思う。派遣を実施して初めてわかる課題も生じると思うが、どうか温かい目で本事業の先行きを見守って頂きたい。

調布市長
友貴樹



◀配布中止
連絡フォーム

市報ちようふは、
市庁でもご覧いただけます

